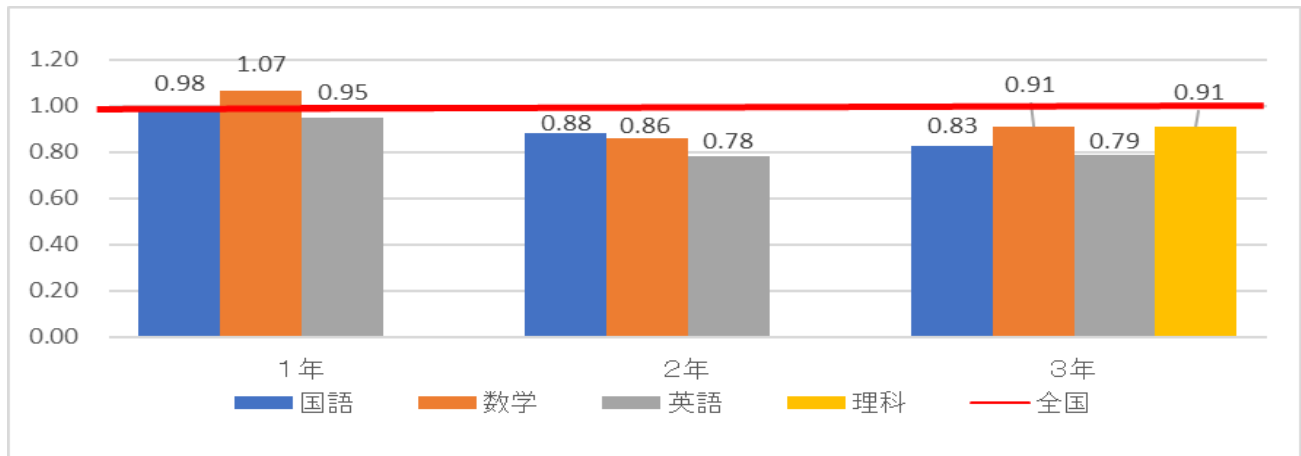


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について

第五中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査

中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	1、2年生ともに、「書くこと」に課題がある。文章を読んで理解したこと、聞いたことを基に自分の意見を表現できるよう、ディベートも含め言語活動を大切にした学習活動を推進する。
	数学	1年生はすべての領域で全国正答率を上回った。2年生は「図形」「関数」の領域に課題があり、基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、反復練習を促し、きめ細かな指導を継続していく。
	英語	1、2年生ともに、基礎的な知識・技能において、「書くこと」に課題がある。簡単な日常会話の英文聞き取りなど、「主体的に学習に取り組む態度」を伸ばし、表現活動を取り入れた授業を展開していく。
全国学力・学習状況調査	国語	「資料や機器を使って考えが伝わるように表現を工夫する」設問について全国平均を上回った。一方、「書くこと」領域に課題があるため、「自分の考えを書く」言語活動を取り入れていく。
	数学	「数と式」「データ活用」領域は全国平均と同等の正答率であったが、「図形」領域に課題が見られた。事象をとらえ数学的に説明する設問の無回答率が高いため、数学的思考力の育成を図っていく。
	理科	「知識・理解」の正答率に比べ、記述による「思考力・判断力・表現力」の設問に大きな課題がある。身の回りの事象について、正しく理解し考察する力と、粘り強く取り組む力の育成を図っていく。
	質問紙	「人の役に立つ人間になりたい」、「いじめはどんなことがあってもいけない」、「将来の夢や目標」の項目も肯定的回答が上昇傾向にあり、教科横断的に「豊かな心」「考える力」の育成を図る。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的で開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会・授業公開を開催し、同じ方向性のもと取組を推進している。

【学校】

あらゆる教育活動において、学ぶことと将来のつながりを実感する場を設定、自己実現に向け「自ら考え行動できる生徒の育成」をめざしている。基礎・基本の知識定着を図る「凛チャレ学習」や、自学ノート（凛チャレノート）などの継続した取組で、学びに向かう姿勢の向上を図っている。